

自己評価及び外部評価票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2092600044	
法人名	株式会社サンシャインライフ	
事業所名	サンシャインあてらグループホーム	
所在地	長野県木曾郡大桑村野尻931-1	
自己評価作成日	令和5年9月23日	評価結果市町村受理日

※事業所の基本情報は、長野県介護サービス情報公表システムで閲覧してください(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	ps://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action=kouhyou.pref.search.list.list
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	一般社団法人しなの福祉教育総研
所在地	長野県上田市上田180-6
訪問調査日	令和5年12月5日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

広い敷地に落ち着いた建物、庭園を散歩しながら木曾駒を眺め、季節の移り変わりを利用者と一緒に感じています。食卓は野菜多めのバランスを考えた献立を用意し、午後のお茶タイムには手作りヨーグルトや手作りお菓子、市販のお菓子を提供し、飲み物はココア・コーヒー・紅茶・牛乳の中から好きな物を選んで頂いています。施設ではありませんが、もう一つの家として家庭的な雰囲気を大切にしながら、職員も家族の一人として、制服ではなく普段着で過ごしています。感染症予防にも心がけ、一日3回の定時のトイレ掃除を行い、清潔に心がけています。お茶を利用して寝る前の口腔ケアとしてカテキンゼリーを作って食べて頂いたり、お茶がらを煮出したうがい薬を使い、うがいを奨励し、絶えず実施しています。寒さ厳しい地域ではありませんが、床暖房が入り、室内で快適に過ごして頂けるように環境を整えています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

玄関を入ると、リビングから職員と利用者の大きな笑い声が聞こえてきました。その元気の素は、職員お手製のお茶がら煮だし水によるうがい習慣、寝る前に食べるカテキンゼリー。生活の中で必然的に行われる廊下歩行リハビリ習慣。毎日職員が当番制で行うパワフルなレクリエーションと高速早口言葉お披露目習慣。食事の内容も(肉料理・野菜・味付けごはん等)量が多く、“わー”と歓声が上がる楽しい食事。これらは利用者が感染症に罹患せず、活動的な生活が送れる健康づくりの取り組みになっています。また、プライバシーを大切に、家での生活を重視した部屋づくりは、家族と協力して行っています。利用者同士が肩を並べて話をしたり、サンルームでお茶会をする当たり前の日常生活は「家庭的な雰囲気を大切にしている」事業所の工夫された実践につながっています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します。ユニットが複数ある場合は、ユニットごとに作成してください。

ユニット名(すみれ)		項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向をつかんでいる。 (参考項目: 23, 24, 25)	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掘んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目: 9, 10, 19)	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目: 18, 38)	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目: 2, 20)	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目: 38)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目: 4)	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目: 36, 37)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている。 (11, 12)	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目: 49)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目: 30, 31)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目: 28)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない				

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

ユニット名(さくら)			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	66	職員は、活き活きと働いている。 (11, 12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目：30, 31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		